

「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書

住民説明会及び意見交換会

第5回 開催報告

議事概要

対象地域：栄西連合町内会の地域

開催日時：平成30年10月25日（木）19：00～20：30

開催場所：栄西地区会館多目的ホール

（東区北39条東4丁目1-1）

参加者数：市民29名（地域の方20名、地域以外の方9名）、
札幌市（事務局）3名、北海道（オブザーバー）1名、
道銀地域総合研究所（事務局）4名 計37名



1. 開会挨拶

（札幌市より挨拶）

2. 出席者の紹介

（事務局紹介）

3. 「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書の説明

（札幌市より説明）

4. 意見交換

＜地域の方より＞

○ご意見

【利活用策について】

- ・丘珠空港は札幌市、北海道の財産でもあり、うまく活用することが地域の活性化にもつながる。ぜひ検討内容を前向きに進めていただきたい。
- ・空港によって地域が活性化し、賑わいのあるまちづくりができれば良い。
- ・滑走路を延長して、利便性が良くなるというのはわかるが、知名度の上がるようなわくわく感のある施策を打ち出してほしい。
- ・札幌都心から本当に近く、利便性がある空港である。

- ・つど一むの雪まつり会場が成功したのは、空港があるお蔭で背景に何もなく、大きな広い青空の下で大通会場とは全然違う雰囲気があるためである。外国から来たお客様は、新雪の広い平原に非常に魅力を感じており、今後も丘珠空港緑地帯を提供して、しばれ体験やかんじきウォーキング等、色々体験できるようにしてほしい。
- ・災害に対する道内拠点としての利用を進め、医療施設や物品庫等を近くに整備すれば、地域の活性化につながる。
- ・樽前山の噴火があれば新千歳空港が使えなくなることも想定され、そのバックアップ空港としての役割も非常に重要であり、ジェット機が通年就航できるような空港にすべき。
- ・大地震で道内全域が停電になり、当然新千歳空港も使えず、鉄道、高速道路も止まった。丘珠飛行場は札幌市の中心部とも近く、今後のために災害対策としての空輸送を整備していただきたい。
- ・FDA の夏場の利用は多いと聞いており、通年で営業していただくためには滑走路も2,000mになれば良い。色々な飛行機が利用でき、将来のためには必要だ。
- ・空港が便利になり、大きな飛行機が就航できるようになって、全国各地にアクセスできるようになることは非常に素晴らしい。ぜひとも滑走路を2,000mに延長してほしい。
- ・地下鉄の延伸を滑走路延長とセットで進めてほしい。滑走路だけ延長しても、アクセスが悪いと利用者は限られてくる。
- ・直行バスは現在札幌駅からであるが、苗穂駅の北口からのルートは混雑せずに空港まで来れるので、こちらのルートも検討いただきたい。

【本説明会の運営について】

- ・現在の取り組みについて内容もよく理解できた。
- ・滑走路延長の課題、アクセスの課題がある中で、集客するにはどうしたらいいのかという意見を求められても良い答えは出てこないと思う。

○ご質問

【利活用策について】

- ・国際ターミナルや道外・国外路線の検討について、目標を持っているのか。海外、アジアからのプライベートジェットの受け入れを先に進めて国際線を検討した方が良いのではないかと。LCCの海外路線よりは実現性がある。

(回答) 現在の丘珠空港においては、入国時の検疫や審査ができないため、国際線を実施するためには、関係機関の体制をつくる必要がある。LCCは機体が大きく、滑走路は1,800m以上必要で、延伸とセットになる。道外便については、環境基準を超えない範囲で発着枠は利用可能であるが、最終的に航空会社の考えによる。

・交通の便が悪く、地下鉄、バスがあちこちで切れていて、何で行ったらいいのかわからない。まず交通機関の整備、特に地下鉄をつなげていただきたい。

(回答) 丘珠空港の一日の利用客数が大体700人程度という状況を考えると、現状ではすぐに交通を整備する方向にはならない。将来的に需要が増えていけば可能性はあるかもしれない。

【その他】

・道内空港の民間委託については、企業利益が優先されるのではないかと懸念している。進捗状況や情勢を教えてください。

(回答) 道内7空港の民間委託は現在、3社を審査中で、来年7月にその中から1社が決定され、10月に正式に契約、その翌年から7空港の委託が一つずつ始まっていく予定である。提案内容の中には今回民間委託とならない空港についても活性化するような提案とすることになっており、我々としても受託後の企業の動向を見据えていく必要があると考えている。

・一番の問題は利用者が少ないことだ。今運航している航空会社も黒字経営なのか。東京との路線を一つ作るだけで便利になり、利用客数は大幅に上がり、売上も上がると思う。ANA がいたときはまだまだ利用者が多かった。

(回答) 現在、丘珠を中心に運航している HAC は、現状黒字と伺っている。

<地域以外の方より>

○ご意見

【利活用の検討の進め方について】

- ・住民の声を聞かないで、何か経済界の要求で整備をしても得をするのは大企業だけである。航路下の住民の思いを考えてほしい。
- ・丘珠空港は、石狩に移転すべきだ。札幌市東区に15年前航空機が墜落し、そのときに、防衛省・自衛隊は石狩に移転しようとしていた。そのことを報告書に載せずに、都合の良い意見を載せているのはおかしい。

※航空機の墜落について、運輸安全委員会の公表資料によると、15年前に発生した事実は無く、31年前の昭和62年に札幌市東区で墜落事故が発生した記録があります。

【空港周辺の環境について】

- ・航路直下の町内会に住んでいるが、拡張してもっと大きな騒音になり、離発着が頻繁になり、朝も早く、夜も遅くなる。また、丘珠空港は防衛省が管轄しており、将来オスプレイがここに来ないという保証はない。皆さんが平穏に暮らしたい。騒音もなく平和に暮らしたいという声が一番多いということを肝に銘じていただきたい。

【整備に関わる費用について】

- ・不景気が続き、収入も少なくなり、年寄りも多くなっている時代に500億円も使ってなぜこれをするのか。国、北海道、札幌市の税金だと思うが、地震対策等もっとしなければならぬことがたくさんある。

【本説明会の運営について】

- ・空港周辺に土地や不動産を持っており、航空機からの落下物で不動産の屋根に穴があいて水漏れしたり、車がへこんだ。また、いつもうるさい。地域住民ではないということで、一番被害を受けている人の発言の時間がないというのはおかしいので、まずこういう発言が出来る仕組みをつくってほしい。
- ・空港の所有者、管理者である防衛省・自衛隊の方が説明するべきだ。

5. 閉会

以上